

国宝 大崎八幡宮

御鎮座記念祭

雅楽の夕べ

令和元年八月十二日(月・振替休日)

祭典 午後六時三十分

雅楽の夕べ 午後七時開演

大崎八幡宮 社殿前特設舞台

玉串料◎一家族につき三千円

撒下品◎御神札・御幣束・供物

出演 伶楽舎(音楽監督・芝祐靖)

大崎八幡宮職員

主催 大崎八幡宮



第九回 雅楽の夕に、

東日本大震災復興祈念

いっしょに、雅楽をうたおう

令和元年八月十三日(火)

午後四時～午後六時

大崎八幡宮 社殿前特設舞台

入場無料

雅楽演奏・舞／雅楽愛好一般の方々多数

伶楽舎(音楽監督・芝祐靖)

大崎八幡宮職員、

宮田まゆみ

主催 「雅楽の夕に、」実行委員会

入場無料

*写真は平成30年撮影のものです。

国宝 大崎八幡宮

御鎮座記念祭

雅楽の夕べ

令和元年八月十二日(月・振替休日)

祭典 午後六時三十分

雅楽の夕べ 午後七時開演

大崎八幡宮 社殿前特設舞台

玉串料❖一家族につき三千円

撒下品❖御神札・御幣束・供物

出演／伶楽舎(音楽監督・芝祐靖)

大崎八幡宮職員

演奏曲目

- | | | |
|--------|--------|-------------------|
| 一、今様 | 白薄様 | いまより しろうすより |
| 二、管絃 | 平調音取 | かんげん ひょうじょうのねとり |
| | 老君子 | ろうくんし |
| 三、神前神楽 | 青葉の舞 | しんぜんかぐら あおばのまい |
| 四、御神楽 | 其駒―人長舞 | みかぐら そのこま―にんじょうまい |
| 五、神前神楽 | 浦安の舞 | しんぜんかぐら うらやすのまい |
| 六、退出音声 | 長慶子 | まかでおんじょう ちようげいし |

仙台藩祖伊達政宗公は開府の秋、仙台城の乾(北西)の方角にあたる当地を八幡宮の鎮座地と定め、現在の御社殿を御造営。慶長十二年(一六〇七)八月十二日、正遷座の儀が浄閑のなか肅々と斎行され、大崎八幡宮が誕生致しました。

『治家記録引証記』(真山記九)には「慶長十二年八月十二日八幡宮成就シテ御遷宮、(中略)大工之棟梁ハ梅村彦左衛門二男三十郎頼次(中略)天下無双之巧人刑部左衛門国次(中略)鍛冶雅楽介吉家、(中略)画工ハ絵師佐久間左京ト也」と記されております。

御鎮座記念祭は四百十余年前の御遷座の日を記念して斎行されるものです。

第九回

雅楽の夕に、

東日本大震災復興祈念

令和元年八月十三日(火)

午後四時〜午後六時

大崎八幡宮 社殿前特設舞台

入場無料

雅楽、うたのちからと共に

大崎八幡宮の国宝ご社殿前で、

千数百年を生き続けてきた

雅楽をいっしょにうたう日。

楽器をお持ちの方も、ふるってご参加ください。

さあ、今年も。

いっしょに、雅楽をうたいましょう。

雅楽演奏・舞／雅楽愛好一般の方々多数、大崎八幡宮職員、

伶楽舎(音楽監督・芝祐靖)、宮田まゆみ

ご挨拶／大崎八幡宮 宮司 小野目博昭、宮田まゆみ

演奏曲目

- | | |
|---------|----------------------|
| 拾翠楽 | じつすいらく |
| 黄鐘調 越天楽 | おうしきちようえてんらく |
| 早鬘多々良 | はやびんたたら (十歌のワークショップ) |
| 青葉の舞 | あおばのまい |
| 合歓塩 | がっかえん |
| 抜頭 | ばとう |
| 朗詠 嘉辰 | ろうえい かしん |
| 平調 越天楽 | ひょうじょう えてんらく |
| 萬代の舞 | よろずよのまい (十歌のワークショップ) |
| ほか | |

*合歓塩、抜頭、平調越天楽は参加希望の皆さまと一緒に演奏します。ふるってご参加ください。

主催／「雅楽の夕に、」実行委員会

お問い合わせ／大崎八幡宮社務所

電話／022-2234-3606

oosaki@oosaki-hachiman.or.jp